

Sublineages of Mycobacterium tuberculosis Beijing genotype strains and unfavorable outcomes of anti-tuberculosis treatment

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2016-01-29 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: Hang, Nguyen Thi Le メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/10470/31333

様式 (6)

学 位 審 査

学 位 番 号	乙 第 2874 号	氏 名	Nguyen Thi Le Hang
審 査 委 員 会	主 査 教 授	遠藤 弘良	
論文審査の要旨（400 字以内） 世界的な広がりを見せる結核菌の北京型株の亜系統が、治療失敗、再発にどのような影響を及ぼすかについて前向き研究を行ったものである。ハノイ市において活動性結核と診断された患者（430 名）に抗結核薬による標準治療を行い治療失敗の有無、また治療終了後 16 か月の経過観察を行い再発の有無を確認した。治療前に培養分離株を保存し薬剤感受性検査と遺伝型別解析を実施した。治療失敗（17 名）にはリファンピシン耐性が関連し、再発（30 名）には、北京型の亜系統である新興型の株が薬剤耐性率によらず関連していたことが判明した。病原体の亜系統についても注意を払い、結核の再発率を低下させるための対策に役立てることの重要性を裏付けた今後の結核対策に有益な研究といえる。 本要旨は当該論文が第二次審査に合格した後の 1 週間以内に学務部医学部大学院課へご提出下さい。（本学学会雑誌に公表）【学校教育法学位規則第 8 条】			